

1、園の教育目標

本園は、学校教育法に基づき、キリスト教の愛の精神をもって、一人一人を大切に、成長しつつある幼児に清らかな宗教環境を与えることによって心身の発達を援助し、健全な人格を持った愛情豊かな子に育てる教育につとめています。子ども自身が持っている創造性や成長する力を引き出すことこそ、教育の本質であると考えています。子どもは“遊び”を通して様々なことに興味や関心を持ち、また、自己表現や人のかかわりの知恵を体験的に学びながら、人間としての基本的なことを身につけていきます。幼な子にとって“遊び”は大切な“学習”の場です。このことを重視し、“遊び”を大切にされた保育を行っています。

保育理念として次の7項目を掲げています

- ・思いやりのある子
- ・自分の思いが伝えられる子
- ・ちょっとしたことでへこたれない子
- ・豊かな感情を持った子
- ・人の話を聞くことができる子
- ・やってみようという気持ちが持てる子
- ・挨拶のできる子

2、本年度の重点目標

幼児期に教えなければならないこと、この時期に経験しなければならないことを園全体で考え、教師一人ひとりが暖かい雰囲気の中で園児一人一人に寄り添い保育を実践することのできるよう努めます。その為に幼児の理解、教師の連携・協力体制の強化、教師としての質の向上、保育環境の充実に力を注ぎます。

3、評価項目の取組内容

① 教師としての質の向上

自己課題を持って研修に参加したり、日常の保育を教職員間で見せ合ったり、ビデオを利用した後、意見交換を行い新たな気づきを得たり学んだりする機会を持つ。また園全体で課題を決め一つの研究に取り組む。教職員間での連携がスムーズに行えるように保育現場における状況や事例を報告し合い、全体で共有し対応を検討していく。

② 保育環境の充実

子どもたちが毎日気持ちよく生活し、自己発揮できるように教職員の美化意識の向上を図りながら、施設内の整理・整頓・安全の確認を職員間で話し合い協力して

行う。遊具・玩具の使い方・片付けの指導や不必要な物・危険な物の排除、新たに
必要な物の検討を行っていく。

園外活動を計画し、園内では味わえない自然や地域との係わりを組み入れる。

③ “食育”に関する研究

子ども達の“食”に対する関心や知識を深める研究を行う。

食育便りの発行や給食参観の実施などで園と家庭との共通理解を深めるとともに、
協力・連携体制を充実させる。給食業者との話し合いを持ち、子供たちの食事の様
子や園での食育の取り組みを伝えることで業者との連携を深め、給食の充実を図る。

④ 保護者との連携の充実

園からは、子供の成長がよくわかって頂けるように伝え方を工夫したり、お便り
を充実させたりする。また保護者アンケートを実施し、園やご家庭での現状や課題
を把握・分析することで、教育活動の反省・課題の参考とする。

保護者も子供たちと楽しく過ごせる行事や保育参観を企画・実践する。

4、学校評価の評価結果

結 果	評 価 委 員 の 意 見
A	素晴らしい取り組みを実践している。 子ども一人ひとりに応じたかかわりや支援をしている。 子どもが楽しく園で過ごし、行事ごとに成長していくのを感じた。どの先 生も声をかけてくれてみんなの先生で見てくれている感じがあった。

5、今後取り組むべき課題

- ・教師としての質の向上
- ・心をつくる保育環境の充実
- ・子どもの生活習慣に関する研究
- ・保護者との連携の充実

6、今年度の学校関係者評価委員会

各クラスの子供達の様子や全体での活動を見学したり、保育の中に入って子どもた
ちと一緒に過ごしたりして頂いた。年度末評価委員会には、子ども達の礼拝の姿も
ご覧いただいた。評価委員会は、4月、10月、3月の3回実施し、園の取り組みを
一つ一つ熱心に聞いて頂き、貴重なご意見や感想をいただいたので、今後の課題へ
と繋げていきたい。

7、財務状況

公認会計士監査より、適正に運営されていると認められている。